



INTERMOLD[®] 2021 金型展2021

■主催／一般社団法人日本金型工業会

金属プレス加工技術展 2021

■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会

2021年4月14日水 > 17日土 10:00 > 17:00
※ただし最終日は16:00まで

東京ビッグサイト 青海展示棟 〒135-0064
東京都江東区青海1-2-33

出展案内

INTERMOLD 2021 金型展2021 金属プレス加工技術展2021

金型・金属プレス加工の専門見本市だからできるコト

来場者・素形材業界関係者が求めている **コト**

出展企業のやりたい **コト**

私たちができる **コト**

『ものづくりの原点』

“日本の基幹産業の発展を支える素形材産業”
最新の金型技術から金属プレス加工技術の一貫したソリューションを提案します。



各種専門フェアを併催し、関連業界や異業種分野とのビジネスマッチングを促進します。

鍛造加工技術フェア

精密仕上げ加工&バリ取り・研磨加工技術フェア

熱処理・表面処理フェア

工場環境・設備ソリューションフェア

3Dプリンティングフォーラム

自動車部品製造技術フェア

航空機部品製造技術フェア

主な出展物

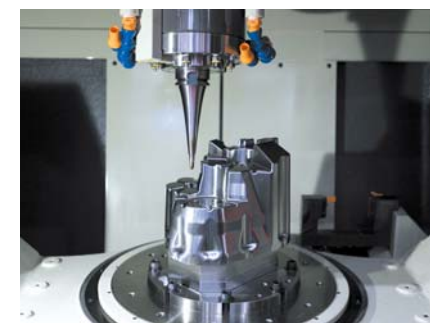
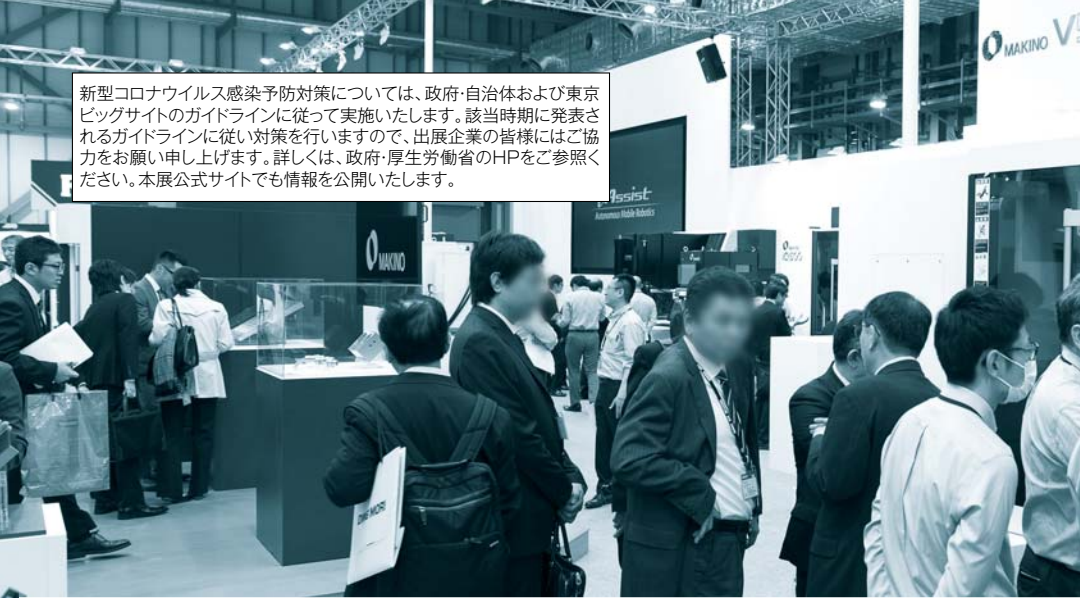
INTERMOLD / 金型展

- 金型製造技術 (工作機械、放電加工、切削・研削、仕上げ加工、周辺装置)
- ロボット、自動化装置、省力化装置
- 切削工具
- ツーリング・工具保持具、治具
- 金型設計
- 測定器、計測器
- 金型、成形サンプル
- 成形材料
- 洗浄、補修、メンテナンス
- 油剤、ケミカル製品
- 各種部品加工技術など
- 3Dプリンター、アディティブマニュファクチャリング (金属積層造形、樹脂積層造形 他)
- 各種成形加工 (金属プレス加工、プラスチック成形、ゴム成形、ガラス成形、鍛造、鋳造、ダイキャスト)
- 機械工具、研磨、砥石
- IoTソリューション、AI
- CAD/CAM/CAE
- 試作・モデリング
- 金型材料、鋼材、金型部品
- 精密仕上げ、バリ取り、研磨加工
- 熱処理、表面処理、表面改質
- 生産管理システム

金属プレス加工技術展

- プレス加工機 (サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、ファインブランキング、深絞りプレス、粉末成形プレス、冷・温・熱間鍛造プレスなど)
- 周辺機器 (トランスファーシステム、アンコイラー、レバラー、フィーダー、安全装置、その他関連機器)
- ロボット・自動化システム
- プレス金型・プレス金型部品
- 各種金属プレス加工品・成形サンプル
- プレス加工事業者による技術PR

新型コロナウイルス感染予防対策については、政府・自治体および東京ビッグサイトのガイドラインに従って実施いたします。該当時期に発表されるガイドラインに従い対策を行いますので、出展企業の皆様にはご協力をお願い申し上げます。詳しくは、政府・厚生労働省のHPをご参照ください。本展公式サイトでも情報を公開いたします。



見本市の出展効果を最大化する。

オンライン見本市開催

- ・コロナ禍で様々な営業活動に制限が生じていますが、オンライン見本市の開催による情報発信と業界関係者のデータ収集を行います。
- ・オンラインによる、特別講演会、技術セミナーの開催

プライベート開催で新規顧客の集客・見本市開催告知を継続的に行います。

出展企業(出展企業独自イベント)との連携

- ・出展情報を有益なコンテンツとしてアーカイブ化し、会期前後にも情報発信を行い、継続的な出展効果を狙います。
- ・展示会を開催期間だけのイベントとしない為に、出展企業の独自イベントとの連携を行い、展示会会期後のフォロー期間中にイベント告知(アフターセミナー開催など)や企画協力などを行います。
- ・年度始め4月開催である本展を年間行事のスタート企画と位置づけてもらい、その後の企画と連携し、相乗効果を狙う。(プライベートショー、工場見学、テクニカルセミナーとの連携など)

■地方の製造業や被災した自治体・地域を支援

感染症拡大や地震・豪雨などの自然災害などが頻発しており、地方の製造業も厳しい状況にあります。本展では製造業界や中小企業の支援を目的とし、地方自治体が運営するパビリオンの出展を支援いたします。出展企業と地方自治体・地方の中小企業とのビジネスマッチングも図ります。地震や豪雨災害に被災した自治体の出展については特別支援を行います。

■新型コロナなど感染症拡大によるイベント開催中止の場合※出展規程参照

主催者が展示会開催を事前に中止した時は、既納出展料金から右記に定める金額を返金します。

新型コロナウイルス感染拡大など感染症、天災などの不可抗力による開催中止等について

- ・緊急事態宣言の発令による開催中止
- ・緊急事態宣言に相当するイベント開催自粛要請による中止
- ・上記相当の状況により主催者および運営事務局の判断による中止
- ・上記等による開催中止の場合は下記の通り既納出展料金を返金するものとする。
- ・開催日程の変更、開催会場の変更などによる出展申込の取消や内容変更はできません。

出展料金の返金について

～2021年4月9日	出展料金の全額返金
2021年4月10日以降	既納出展料金より既発生費用を控除した残額の一部を返金いたします。

【改定日2020年12月2日】

主な来場者

INTERMOLD / 金型展

- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、部品加工メーカー、商社
- プレス金型、鍛造金型、铸造金型、ダイカスト金型、ガラス金型、プラスチック金型、ゴム金型、ブロー金型、粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造、生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、総務・経理
- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、研究・教育、公社・官公庁

金属プレス加工技術展

- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、研究・教育、公社・官公庁
- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、部品加工メーカー、商社
- プレス金型・鍛造金型・铸造金型・ダイカスト金型・ガラス金型・プラスチック金型・ゴム金型・ブロー金型・粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造、生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、総務・経理

前回東京展 開催実績 (2019年4月)

開催データ

開催概要

名称	INTERMOLD 2019 (第30回 金型加工技術展) / 金型展2019	金属プレス加工技術展2019
会期	2019年4月17日(水)~20日(土) 10:00~17:00 (最終日は~16:00)	
会場	東京ビッグサイト 青海展示棟(〒135-0064 東京都江東区青海1-2-33 ほか)	
出展規模	462社・団体 983小間	

来場者数

42,585人

- インターモールド 32,879人
- 金型展 4,285人
- 金属プレス加工技術展 4,494人
- VIP 927人

来場者の地域分類

	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
北海道地区	0.33%	0.44%	0.11%
東北地区	3.19%	3.77%	2.79%
関東地区	66.63%	67.20%	69.25%
中部地区	14.20%	12.82%	12.26%
北陸地区	2.55%	3.19%	2.68%
近畿地区	6.18%	5.50%	5.67%
中国・四国地区	1.55%	1.95%	1.58%
九州・沖縄地区	1.21%	1.14%	1.11%
海外	4.09%	3.99%	4.55%
不明	0.07%	0.00%	0.00%

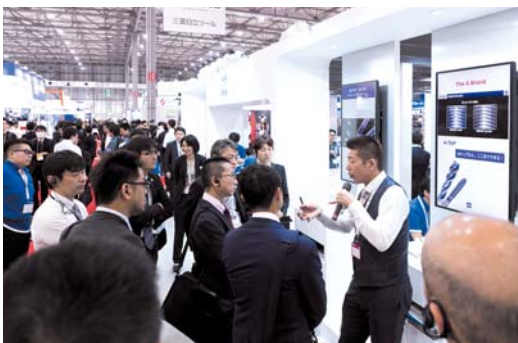
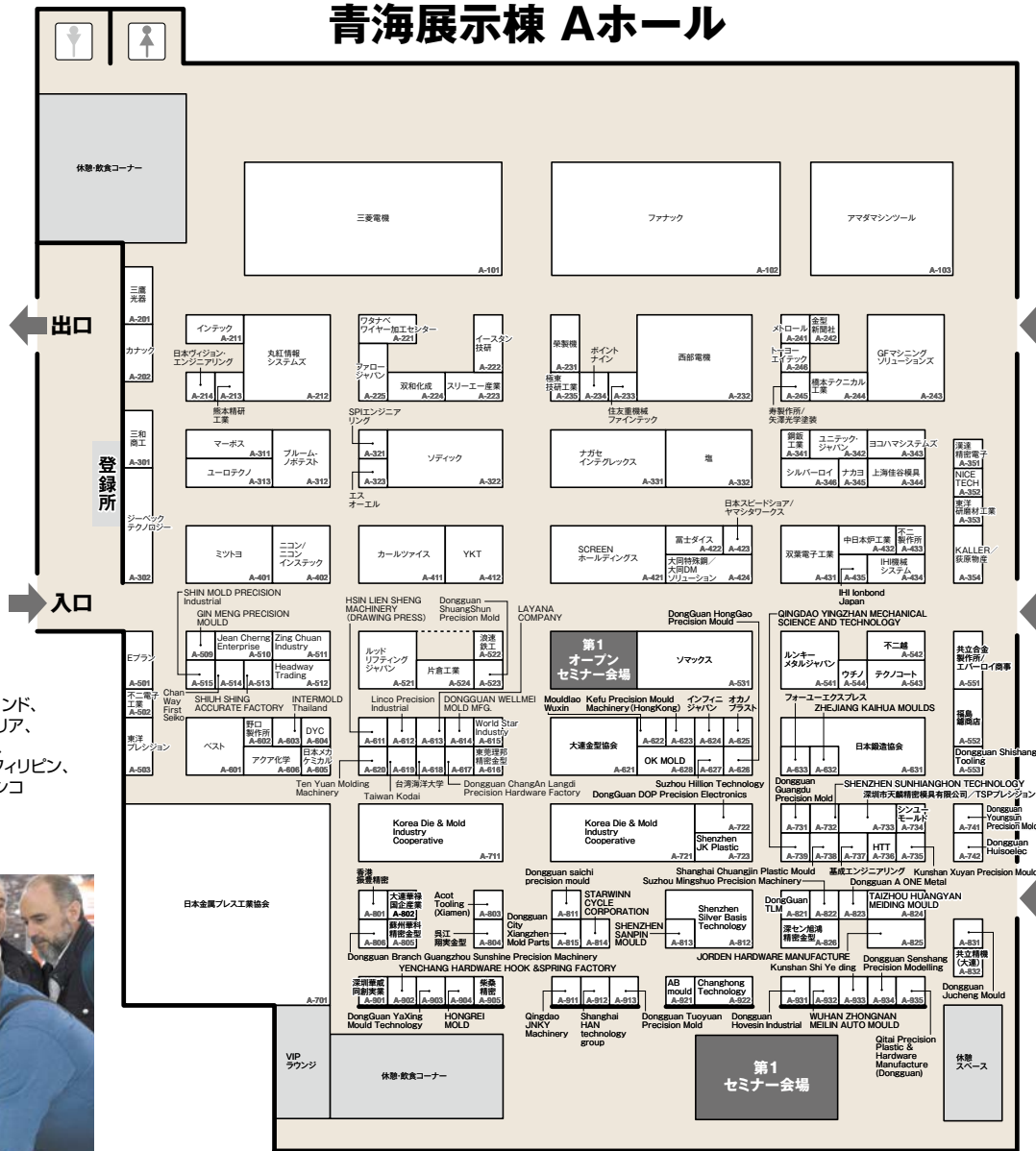
*各項目の比率は小数点第二位までを表示

海外来場者の地域

合計1,720人(3展合計)

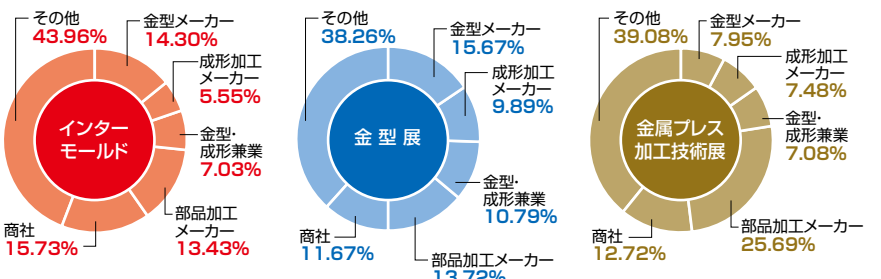
韓国、中国、台湾、UAE、アメリカ、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、オーストラリア、オーストリア、ガーナ、カメルーン、シンガポール、スイス、タイ、チェコ、ドイツ、トルコ、ネパール、パキスタン、フィリピン、ベトナム、ペルー、ポルトガル、マレーシア、メキシコ

会場レイアウト / 東京ビッグサイト(2019年)



来場者業種分類

*各項目の比率は小数点第二位までを表示





青海展示棟 Bホール



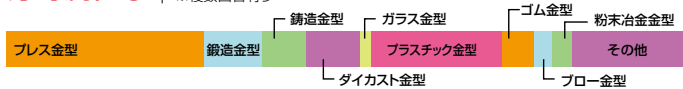
■ 併催企画(一部抜粋)

- **基調講演**
 『「日本のモノづくり」
 ~世界に誇る「強い現場」づくり~』
 住友電気工業株式会社 副社長 生産技術本部長、
 自動車事業本部長 西田 光男 氏
- **特別講演会**
 『自動車産業のモジュール化と
 システム化による開発、製造の変化』
 一般社団法人日本自動車部品工業会 技術担当顧問
 松島 正秀 氏
- **特別講演・セミナー**
 自動車部品・航空機部品関連セミナー、
 3Dプリンター関連セミナー、
 精密仕上げ・バリ取り・研磨加工関連セミナー、
 協賛団体関連セミナー



■ 分野属性①

※下記数字は回答数を表示
 ※複数回答有り



内訳 インターモールド / 金型展 / 金属プレス加工技術展

プレス金型	36.09%	41.59%	67.05%	プラスチック金型	39.72%	39.48%	19.33%
鍛造金型	13.93%	11.46%	17.75%	ゴム金型	8.25%	9.40%	6.06%
鋳造金型	12.41%	9.41%	10.17%	ブロー金型	4.75%	5.11%	2.76%
ダイカスト金型	15.38%	12.46%	11.15%	粉末冶金金型	5.45%	4.78%	4.78%
ガラス金型	4.23%	2.75%	1.78%	その他	34.35%	22.38%	25.12%

■ 分野属性②

※下記数字は回答数を表示
 ※複数回答有り



内訳 インターモールド / 金型展 / 金属プレス加工技術展

自動車・自動車部品関連	48.19%	50.95%	50.80%	文具	3.00%	3.92%	2.04%
半導体・電子機器関連	25.36%	22.68%	23.07%	玩具	3.14%	3.50%	1.62%
家電・通信機器関連	21.39%	25.16%	20.53%	建設・建材	6.87%	10.05%	13.69%
食品・医療・バイオ関連	12.44%	14.11%	8.79%	研究・教育	4.47%	3.59%	2.58%
商社関連	12.55%	7.63%	8.02%	公社・官公庁	2.02%	1.63%	1.58%
航空・宇宙関連	8.90%	5.63%	5.15%	その他	20.59%	15.84%	16.05%

開催概要 / 出展料金 / 申込方法

開催概要

名称	INTERMOLD 2021 (第32回金型加工技術展) / 金型展2021	金属プレス加工技術展2021
会期	2021年4月14日(水)~17日(土) 10:00~17:00 ※最終日は16:00まで	2021年4月14日(水)~17日(土) 10:00~17:00 ※最終日は16:00まで
会場	東京ビッグサイト 青海展示棟(〒135-0064 東京都江東区青海1-2-33)	東京ビッグサイト 青海展示棟(〒135-0064 東京都江東区青海1-2-33)
主催	一般社団法人日本金型工業会	一般社団法人日本金属プレス工業協会
運営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)
公式サイト	http://intermold.jp	http://intermold.jp
同時開催	金属プレス加工技術展2021(主催:一般社団法人日本金属プレス工業協会)	INTERMOLD 2021(第32回金型加工技術展) / 金型展2021(主催:一般社団法人日本金型工業会)
予想来場者数	50,000人(同時開催展を含む)	50,000人(同時開催展を含む)
入場料	1,000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料)	1,000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料)
後援	経済産業省、外務省、東京都、独立行政法人日本貿易振興機構、東京商工会議所、日本経済新聞社(順不同 / 申請予定)	
協賛	一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日本工作機械輸入協会、一般社団法人日本金属プレス工業協会、日本精密機械工業会、日本機械工具工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、一般社団法人型技術協会、日本プラスチック機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本自動車部品工業会(順不同 / 申請予定)	一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、一般社団法人日本金型工業会、一般社団法人型技術協会、一般社団法人素形材センター、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、日本金属熱処理工業会、一般社団法人日本鋳造協会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本リブ工業会、日本粉末冶金工業会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、公益財団法人金型技術振興財団(順不同 / 申請予定)

出展規程

出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
会員	300,000円(別途消費税)	372,000円(別途消費税)
賛助会員	320,000円(別途消費税)	392,000円(別途消費税)
※正会員・賛助会員価格は主催団体の会員のみ適用		
一般	370,000円(別途消費税)	442,000円(別途消費税)
※一般出展者には、早期申込割引制度があります。詳しくはHPをご参照ください。		

角小間指定料

50,000円+消費税(1・2小間の申込者のみ対象)

特別割引制度

- ①早期割引(2020年10月末までの申し込み) 30,000円+消費税/小間
- ②2020年出展申込企業への割引 20%
2020年開催中止となりました大阪展(4月)、名古屋展(7月)へ出展申込(有料)を行った企業は、2021年開催分の出展料金の20%を特別割引いたします。
※20%の特別割引は他の割引制度と併用できません。

小間仕様

サイズ/間口約3m×奥行約3m×高さ2.7m(約9m²)
単列または複列を選択(複列は4小間以上の出展に限りです)

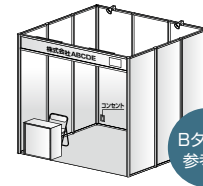
小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。



Bタイプ
参考例

Bタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、パラペット、カーペット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

※Bタイプに含まれる1kWまでの電気使用料を含んでいます。
※社名板、受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。
※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

申込方法

- 1 下記「出展申込みサイト」より出展規程をご了承の上、お申込みください。
① <https://www.intermold.jp/application/>

なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。
出展申込みは、インターネットを通しての申込みとなります。
インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。

〈重要〉重量物展示、および展示内容制限に関して

重量物を展示予定の場合は、申込の際に必ず「予定あり」とチェックして下さい。
また、展示会場での「危険物の持ち込み数量制限」により、加工油剤(切削・放電など)を含む危険物・可燃性固体・液体類の展示、放電加工機または工作機械内蔵油の展示などに制限が設けられる場合がございます。
出展を予定される場合は必ずこちらのチェックをお願いいたします。

- 2 出展申込みサイトで主な出展規程を確認いただけますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。

- 3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。
詳細は事務局までお問い合わせください。

- 4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込みの場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

- 5 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込の際、出展者名を「/」でつないで登録してください。別途登録はできません。(出展者名の変更は後日可能)

申込締切日

2020年12月18日(金)

※ただし、満小間になり次第締切となります。

支払期日

請求書発行日の翌月末

- 出展申込手続き完了後、事務局が受理し、請求書を発行いたします。
- 出展申込手続き完了後、事務局受理日以降の出展申込の取消は出来ません。

※事務局からの請求により、出展料金全額を指定の銀行口座にお振込みいただけます。

出展対象

- 工作機械
マシニングセンター、ターニングセンター、ドリリングセンター、各種研削盤、各種立削り盤、各種フライス盤、各種放電加工機、各種仕上げ機、各種複合加工機、各種旋盤、各種ボール盤、各種ぐり盤、モジュラユニット・専用機、自動組立機、特殊加工機械(レーザー加工機・電解加工機など)、金型自動磨き装置、その他
- 工作機器
工作物保持具、工具保持具、付属品、部分品、付属機械(位置決めテーブル、切削処理装置、給油潤滑装置)、その他
- 特殊鋼工具・超硬工具・ダイヤモンド工具
工具材料、高速度鋼工具、超硬工具、ダイヤモンド及びCBN工具、サメット工具、セラミック工具、その他機械工具
- 研削砥石・研磨材
- 精密測定器・光学測定機・試験器
ノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、ゲージ、三次元測定機器、形状・あらし測定機器、自動精密測定機器、投影機、金属顕微鏡、試験機器、その他
- プレス機械
サーボプレス、液圧プレス、機械プレス、ベンディングマシン、剪断機、鍛造機・装置、線材加工機、各種塑性加工機、その他
- プラスチック加工機械
各種射出成形機、真空成形機、ブロー成形機、真空成型機、圧縮成形機、熱成形機、発泡成形機、押出機、押出成形装置、遠心成形装置、その他
- プラスチック加工機械周辺機器
および原材料・副資材など
成形機械部品・付属装置、試験機・測定機、計器・コントローラ、二次加工機器、ロボット(取出機・インサート装置など)、原材料・副資材、成形サンプル(製品・半製品)、その他
- 機械系・金型用 CAD / CAM / CAEシステム
- 造形システム(ラビッドプロトタイプングシステム)
- 試作・モデリング関連
- FA関連機器・装置、NC装置、自動プログラミング装置
- 生産管理システム
●各種金型
プレス用、鍛造用、粉末冶金用、鋳造用、ダイカスト用、プラスチック用、ゴム用、ガラス用、窯業用など
●成形サンプル
●試作金型
- 各種研究機関・工業会・組合など
- 金型材、金型部品、金型加工システム、金型表面処理、その他関連製品
- 金型周辺機器
金型温度調節機、金型自動交換装置、金型内ガス抜き装置、金型反転機、金型冷却装置、ホットランナ装置、モールドベース、金型監視装置、金型補修機器、その他
- IoTソリューション、AI、自動化関連
- 金型メンテナンス関連
- 図書・文献・資料

テクニカル・ワークショップ／オープンセミナー開催のご案内

プレゼンテーションセミナー(有料)

※各プレゼンテーションセミナーの受講定員については、開催時に該当する感染症予防ガイドラインに応じて設定いたします。

出展者の展示効果を高めるために、「出展者による新技術発表」「新製品PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用できるセミナースペース(有料)を設置します。開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込の際にセミナー開講希望欄にご記入ください。なお、開講希望の出展者には、改めて開講申込書をご提出いただけます。

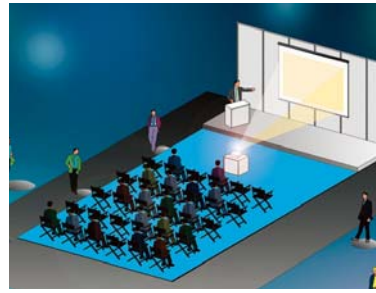


テクニカル・ワークショップ

事前登録制、クローズド、オープン形式など、出展者が目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナーです。製品・技術のPRセミナーとしてだけでなく、「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料セミナー会場として利用することができます。

会場	東京ビッグサイト 会議室または会場内特設会場
定員	40~100名程度 ※スクール形式
開講料	60分 / 85,000円(税別) 90分 / 115,000円(税別)

※プログラムは、事務局にて調整します。



オープンセミナー

展示ホール内に、オープン形式のセミナー会場を設けます。来場者は展示ブースを移動する間に、興味のあるセミナーを自由に聴講できます。新規顧客に対して、新製品・新技術のPRが可能となり、自社ブースへ誘導するチャンスにもなりますので、展示との相乗効果に期待できます。

会場	東京ビッグサイト 展示場内特設会場
定員	約15~30名 (座席設置数。但し、立ち見も可能です)
開講料	45分 / 50,000円(税別)

時間延長は出来ません。

※複数のセッションを開講することも可能です。(複数開講値引き有り)
※プログラムは、事務局にて調整します。

テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

(2019年東京開催 ※社名・所属・役職などは開催当時)

ブルーム・ノボテスト株式会社

「ハイエンドレーザ計測器LC50-DIGILOGの紹介」
営業部 営業技術チーム リーダー 高村 亮氏

オーエスジー株式会社

「金型革命!!」
加工技術グループ 今泉 悦史氏

カールツァイス株式会社

「METROTOMを用いた樹脂成形品向け測定・検査ソリューションのご案内」
テクニカルセールス X-Ray 遠藤 廉氏

日進工具株式会社

「微細・精密金型の高精度加工を実現する加工技術提案」
開発部 研究開発課 課長 遠藤 孝政氏

ユニオン ツール株式会社

「高硬度材の高効率加工を実現する最新エンドミルについて」
技術本部 工具技術部 エンドミル工具開発課 課長 大崎 英樹氏

株式会社アマダマシンツール

「自動化・効率化をさらに向上した新シリーズ「UP」による研削加工機能の紹介」
研削技術部 研削実証加工GR グループリーダー 三谷 知範氏

オートフォームジャパン株式会社

「ロバストスプリングバック見込み補正手法とシミュレーションベースド・トライアウトによる金型玉成回数の削減」
技術サービス部 部長 鈴木 渉氏

「分析的工程改善(SPI)がもたらす大幅な材料削減とコストダウン」
技術サービス部 第2課 アプリケーション エンジニア 山本 貴行氏

「プレス成形シミュレーションにおける最新技術のご紹介～最適化・順送・精度向上のためのユースケース～」
技術サービス部 第2課 シニア アプリケーション エンジニア 今井 洋徳氏

ダイジェット工業株式会社

「高硬度材「攻略セヨ!」」
技術部 技術室 切削工具開発課 早水 拓也氏

匠ソリューションズ株式会社

「ものづくりIoTソリューション ワイヤレス温度計測システム「TWINDS-T」の機能と事例紹介」
Solution Section Expert Engineer 浦本 久伸氏

三菱電機株式会社

「自動化・AI・IoT」と「超高精度・高速」加工でひらくものづくり新時代～三菱放電加工機 最新技術のご紹介～」
名古屋製作所 放電製造部

株式会社牧野フライス製作所

「段取り替えゼロ」
営業本部 国内営業部 金型プロジェクトセールス課 課長 黒崎 一成氏

株式会社ジェービーエム

「加工業に於ける精密レーザー加工技術の可能性」
エンジニアプロジェクト 部長 前田 弥生氏

GFマシニングソリューションズ株式会社

「GFマシニングソリューションズがご提案するアデティブ・マニファクチャリングの加工技術」
Additive Manufacturing Business Development Asia Head Mr. Guy Ofek

セコ・ツールズ・ジャパン株式会社

「時代が求める高速加工・生産能力における工具選定と加工技術提案」
加工技術部 アシスタントマネージャー 杉山 晴康氏

オープンセミナー 前回開講実績(抜粋)

(2019年東京開催 ※社名・所属・役職などは開催当時)

シンクビジョン株式会社

「現場の実情」に合った工程管理」
ソリューション事業部 マネージャー 地曳 淳氏

株式会社橋本テクニカル工業

「ナノクラッシュ付注水装置「異次元くん」による研削加工の生産性アップ」
代表取締役 橋本 直幸氏

コダマコーポレーション株式会社

「TOPProgressiによるプレス金型設計・製作の効率化事例」
小金 佑介氏

「最新CAD/CAM活用セミナー」

小金 佑介氏

「世界最速金型CAD TopSolid'Moldによるプラスチック金型設計」

小金 佑介氏

上海佳谷模具有限公司

「弊社プールの案内及び弊社が得意とする金型の紹介」
総経理 呉 雪琴氏

株式会社ユーロテック

「アリコナ社製非接触三次元測定機を用いた革新的な工具、金型測定」
営業チーム 藤田 篤氏

株式会社IHI Ionbond Japan

「IHI Ionbond の金型向けコーティングソリューション」
代表取締役 綾目 吉彦氏

株式会社山一ハガネ

「ダイカスト金型の最適化」
AM BU 取締役 小栗 有志氏

エスオーエル株式会社

「高精度寸法測定を実現するX線CT装置TomoScopeのご紹介」
営業部 営業グループ 佐藤 万里江氏

ブルーム・ノボテスト株式会社

「金型が加工機上で簡単に計測できるソフトウェアのご紹介」
技術・サービス プロダクトマネージャー 森本 靖久氏

DMG森精機株式会社

「DMG森精機における金型加工に対する取り組み」
R&Dカンパニー レーザ・光学部 部長 近藤 昌樹氏

バルステック工業株式会社

「残留応力測定装置の原理と測定事例」
営業部営業2課 主任 増井 貴氏

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

「切削加工シミュレーションを活用した加工改善事例」
科学システム本部 CAEソリューション営業部 材料・生産技術営業課 江渡 寿郎氏



主な出展規程

1. 出展料金等の請求と支払い、返金等について

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出品料金の請求書を送付します。出展者は、請求書記載の期日までに出品料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込みのみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出品料金を含め本展示会に関する全ての支払い、返金についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展申込みの受理、成立期日について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書(申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど)を事務局が受領した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

- (1) 出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得てください。
- (2) やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料(角小間料金含む)をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
出展申込日～2020年12月18日	出展料金(税込)の10%
2020年12月19日～2021年1月8日	出展料金(税込)の50%
2021年1月9日～2021年1月31日	出展料金(税込)の75%
2021年2月1日以降	出展料金(税込)の100%

- (3) 出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- (4) 事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出品料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。
 - ① 2021年1月31日(日)までに出品料金を完納しない場合
 - ② 事前申告なしに搬入日の2021年4月13日12時までに小間の使用を開始しない場合
 - ③ 出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

- (1) 小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します(予定)。出展者は小間の割当てについて、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。
- (2) 主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出品料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名などを申込時に事務局へ通知するものとします。

7. 出展物および展示装飾・実演に関する規制と撤去・搬出

- (1) 小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期日以内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。
- (2) 展示ブース内の実演において、本展示会に出展していない企業の機械・製品を使用することは禁止いたします。必ず小間内出展等の手続きを行ってください。

(3) いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更へ同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。

(4) 事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出品料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてはその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催概要の変更または開催中止について

主催者は、天災および本項に定めるその他の不可抗力により展示会の開催が著しく困難となった場合、開催概要の大幅な変更、会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、この決定および実行により被る出展者に生じた損害や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する一切の責任を負わないものとします。

- (1) 会期変更の取り扱いについて
出展申込みは、変更された会期等について有効とし、変更などを理由として出展を取消することはできません。
- (2) 出品料金の返金について
主催者が展示会開催を事前または会期中に中止した時は、既納出品料金から下記に定める金額を返金します。その際、銀行振込手数料は出展者の負担とします。また、主催者が会期変更(延期)を行った場合は、既納出品料金の返金は行わないものとします。会期変更を行った際は、その変更した開催日程に応じた出品料金の返金規程を、主催者および事務局が設定するものとします。

中止による既納出品料金の返金割合

2020年12月31日まで	出品料金(税込)の全額返金
2021年1月1日～2021年1月31日	出品料金(税込)の65%返金
2021年2月1日～2021年2月28日	出品料金(税込)の50%返金
2021年3月1日～2021年3月31日	出品料金(税込)の35%返金
2021年4月1日～2021年4月9日	出品料金(税込)の25%返金
2021年4月10日以降	出品料金の返金はいりません。

- (3) 不可抗力について
戦争、暴動、反乱、内乱、テロ、火災、爆発、洪水、盗難、害意による損害、ストライキ、立入制限、天候、第三者による差止行為、国防、公衆衛生に関わる緊急事態、国または地方公共団体の行為または規制など、主催者のコントロールの及ばないあらゆる原因をいいます。

【改定日2020年12月2日】

上記の例外として、新型コロナウイルス感染症拡大により主催者が開催を中止した場合は、既納出品料金を全額返金いたします。ただし、2021年4月10日以降(搬入開始前日)の開催中止の場合は、既納出品料金より既発生費用を控除した残額の一部を返金いたします。

11. 日本国内への入国手続き

出展者が、本展示会への出展のため日本国内への入国手続きを必要とする場合、出展者は自己の責任において日本国内への入国手続きを行うものとし、入国審査に関わる全ての手続きならびに経費に対しては、主催者は一切の責任を負わないものとします。また、何らかの理由によりわが国に入国できないために出展申込を取り消す場合には、出展者は主催者に対し、「3. 出展申込の取消(キャンセル)」に定める規程によりキャンセル料を支払わなければなりません。

12. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。